

【樹木・草花の部屋】

カシワバアジサイ（アジサイ科アジサイ属 *Hydrangea quercifolia*）

和名（漢字）； 柏葉紫陽花 別名； 英名； Oak-leaved Hydrangea

バラ目 落葉低木

原産地； 北米

語源； 葉は大きくて深い切れ込みが入り、その姿がカシワの葉のように見えるところからこの名前があります。

花言葉； 慈愛、純潔、純粋、汚れなき心、清純、美、皆を引き付ける魅力、元気な女性

花の色； 白 6月-7月に白い一重の装飾花(†)を円すい形にまとめて咲かせます。花房は自重で枝ごとうつむくこともあります。特に八重咲きの品種は雨で水を含むとかなり重そうにぐにやりと枝を曲げます。



⇒ 写真－1 カシワバアジサイの樹形

撮影日； 2005年6月16日

撮影場所； 奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者； Mさん

10年以上前に、ご近所から小株を譲り受けたもので、大きくしたくないので鉢植えで楽しんでいます。根詰りを起こしているようなので、そろそろ植え替えをしなければ・・・。

<ちょっと一言>

葉の形がカシワに似ていることが、和名の由来。花は装飾花である白い花穂が円錐状あるいはピラミッド型に付く特徴のある形状をした、アジサイ(紫陽花)の大型品種で5月～7月に真っ白い花を付けます。八重咲き(Snow Flake：スノーフレイク)と一重咲きがあるようですが我が家は一重。一秋には紅葉が楽しめます。古くから日本にもあったそうですが・・・が、譲り受けるまで、アジサイの仲間とは・・・。

一重咲きにはスノークイーン(Snow Queen)という品種や、カシワバアジサイの全部の花が装飾花になったものに、ハーモニー(Harmony)という品種があるそうです。ため、花は赤色となる」とことだそうです。酸性の肥料や、アルミニウムを含むミョウバンを与えれば花は青色に・・・。

【樹木・草花の部屋】

同じ株でも部分的に花の色が違うのは、根から送られてくるアルミニウムの量に差があるため。品種によっては遺伝的な要素で花が青色にならないものもあるとか・・・。

主な品種；

スノーフレーク：八重咲きの大型種。

スノークイーン：一重咲き。

テネシークローネ：一重咲き。

ピウイ：矮性で 1m ほど。花は一重。

剪定方法

剪定方法はアジサイと同じ。大型化したのでこじんまりとさせたい場合、来年の花芽を諦められるなら、株元付近から切り戻して最初から仕立て直すこともできます。

アジサイの花は2年目の枝に付くので株元から混みあっている茎や今年開花した茎を間引くようにすれば、スッキリ感を出すことができます。

できれば年2回剪定をします。1回目は花が終わった直後に、花殻の下を2枚か4枚付けて切ります。そうすれば切った場所から枝が2本出てきて、これに花芽が付きます。2回目は10月以降の気温が低くなった頃、花芽が膨らんでいる箇所の上を再度切ります。この作業を7月や8月に行なうと、せっかくの花芽が葉芽になってしまうので要注意。

装飾花とは・・・。雄しべ・雌しべが退化し、花びらや萼(がく)が発達した花。